

## 令和七年度 入学式 校長式辞

晴れ渡った空の下、本校の桜の花も見事に咲き誇り、富士山もひとときわ輝いて見えるこの春の良き日、ご来賓の皆さま、保護者ご家族の皆さまのご臨席を賜り、ここに「静岡大成中学校・静岡大成高等学校 入学式」を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

さて、ただいま身分証明書をお渡しし、入学を許可いたしました中学生47名、高校生200名の新入生の皆さん、ご入学誠におめでとうございます。教職員一同、皆さんのご入学を心より歓迎いたします。

皆さんの今のお気持ちはいかがですか？これから始まる学校生活への「期待と不安」の入り混じった複雑な心境ではないでしょうか。困ったことがありましたら遠慮なく先生や先輩に尋ねてください。皆さんの学校生活を全面的にサポートしていくことをお約束します。

本校は創立122周年を迎える歴史と伝統のある学校です。創立以来変わらない建学の精神「時代に即応する新しい人材の育成」のもと、これまでに2万2千人の卒業生を輩出してまいりました。

また、校歌の歌詞にもある「凛々しきこと 優しきこと」が本校の校訓となります。思春期と言われる中高の6年間は、自分と他者を比べ、他者との違いを意識するようになり、感情の不安定さから他者に強く当たってしまうことがあるかもしれません。

新入生の皆さんには、自分らしさを追い求める「凛々しき」と、思いやりのある言動のとれる「優しき」を携えて、これからの学校生活を送ってほしいと願っております。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。また、本校にお子様を入学させてくださったことに深く感謝申し上げます。お子様を一輪の花に例えたとき、学校は土壌であり、教職員は水、そしてご家族の皆さまは太陽の光だと考えます。大輪の花を咲かせるためにはどれも欠けてはならないものです。さらに、日照りの日ばかりではダメですし、水を与えすぎてもいけません。学校と家庭が、同一歩調でバランスを整えながらお子様の成長を促していきたいと考えております。どうぞ、3年間よろしく願いいたします。

最後になりますが、壇上より新入生の皆さんの姿を拝見していると、制服の輝きとともに、その輝きに負けじとも劣らない笑顔の輝きが見受けられます。今日の感激を胸に刻みながら、その輝きが皆さんの明るい未来を照らし続けることを祈念いたしまして式辞といたします。

令和七年四月七日

校長 堀 泰之